医学部の教育基本方針

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

医学部は，自主創造の理念を念頭に醫明博愛を実践する，（1）豊かな知識・教養に基づき社会に貢献する高い人間力を有する医師の育成，（2）高い倫理感のもとに，論理的・批判的思考力を有し，世界へ発信できる学際的視野を持った研究者の育成，及び（3）豊かな個性を引き出し，次世代リーダーを育成する熱意ある教育者を志す人材の育成を目指しています。

従って医学部では，医学・医療の分野で社会に貢献したいという明確な目的意識とそれを実現しようとする強い意志を持ち，目標に向かって意欲的に学修を進めていくことのできる学生を求めています。

入学試験では，このような人材を多元的な尺度で評価し，基礎的な能力や資質に優れた人材を見出します。

一次試験では，学科試験（理科，数学，外国語）により，６年間の学修に必要な知識・技能，判断力，思考力を評価します。

二次試験では，小論文と面接により，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本大学医学部は日本大学教育憲章に基づき，日本大学マインド，すなわち日本文化を理解し，国民の福祉・健康に寄与し，多様な文化を受容し，地域社会及び国際社会に貢献できる医師を輩出するため，日本大学の教育理念「自主創造」を構成する 3 つのカテゴリーである「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道を開く」姿勢を育み，本学部の理念「醫明博愛」を実践する資質と能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に卒業を認定し，学位（学士）を授与する。

●『自ら学ぶ』

DP1：「教養・知識に基づく高い倫理観」

生命に対する尊厳を持ち，責任ある医療を実践するための豊かな教養と医学の知識を修得し，倫理的原則に基づいた医療を実践できる。（医師としての職責・倫理観とプロフェッショナリズム）

DP2：「保健・医療・福祉の社会性を理解して，世界の現状を理解し，説明する力」

自己の専門領域の文化的・社会的位置付けを把握し，地域社会及び国際社会の保健・医療・福祉の現状を理解して，疾病予防と健康増進の向上に寄与することができる。（疾病予防と健康増進・医療の社会性）

●『自ら考える』

DP3：「論理的・批判的思考力」

新たな知識の創造をめざし，得られる情報を基に実証的・論理的な思考，及び批判的な思考ができる。（科学的探究・医学研究への志向・医学的知識と問題対応能力）

DP4：「問題発見・解決力」

患者に対して思いやりと敬意を示し，基礎・臨床・社会医学領域において，自らの立場を基に，事象を注意深く観察して，問題を発見し，解決策を提案することができる。（診療技能と患者ケア・科学的探究・問題対応能力）

●『自ら道を開く』

DP5：「挑戦力」

医療の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を基に，新しい医学知識や医療技術の創造に果敢に挑戦することができる。（医学知識と問題対応能力・科学的探究）

DP6：「コミュニケーション力」

国内外の多様な文化，社会，環境の中で他者を理解し，その価値観を尊重し，医療の現場において適切なコミュニケーションを主体的に実践し，自らの考えを伝え，発信することができる。（コミュニケーション能力・社会における医療の実践・診療技能と患者ケア）

DP7：「リーダーシップ・協働力」

患者とその近親者，及び医療チームを尊重し，医療の質の向上と患者の安全管理を確保するために，責任ある医療を実践する上でのリーダーシップ・協働力を身に付ける。（チーム医療の実践・プロフェッショナリズム・医療の質と安全管理）

DP8：「省察力」

生涯にわたり，患者の安全を基盤に医療の質を担保し，謙虚に自己を見つめ，振り返りを通じて基礎・臨床・社会医学領域において自己を高めることができる。（自律的学習能力・医療の質と安全管理・生涯にわたって共に学ぶ姿勢）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医学部は，教育目標を踏まえ，ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた医師を育成するため，６年間を通じて，一般教育，基礎医学，社会医学，臨床医学の各分野で構成される体系的なカリキュラムを編成し実施する。また，各授業科目の学修方法，学修課程，学修成果の方法，評価基準をシラバスに明示し，学生に周知する。学修の評価に関しては，実施する授業形態に即し，適正かつ厳格な方法で実施する。

CP1：「教養・知識に基づく高い倫理観」を涵養するために

医師を目指すものとしての自己を評価し，生涯にわたって向上を図ることの必要性と方法を理解する機会を与え，医師としての職責・倫理観とプロフェッショナリズム（態度，考え方，倫理観など）を育てる。

CP2：「保健・医療・福祉の社会性を理解して，世界の現状を把握し，説明する力」を涵養するために

国内外の現状を理解し，情報収集を行う能力と幅広い教養，豊かな感性，及び最新の情報を発信する能力を養い，疾病予防と健康増進の向上に寄与する姿勢を育てる。

CP3：「論理的・批判的思考力」を涵養するために

知識を積極的に習得し，科学的評価・実証を行い，倫理的原則に従い研究計画を立案し，新たな知見を生み出すための科学的探究・医学研究への志向・医学的知識と問題対応能力を育てる。

CP4：「問題発見・解決力」を涵養するために

患者に対し思いやりと敬意を表し，個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施するため，患者ケアに必要な診療技能と科学的探究・問題対応能力を育てる。

CP5：「挑戦力」を涵養するために

自らの知識と技術を研鑽し，未知・未解決の臨床的あるいは科学的問題を意識し，解決のための仮説を立て，果敢に取組む姿勢を育てる。

CP6：「コミュニケーション力」を涵養するために

他者を理解し，それぞれの立場を尊重した人間関係を構築し，適切な医療を実践できるための態度を養い，自らの考えを正確に伝え，国内外に発信するためのコミュニケーション能力を育てる。

CP7：「リーダーシップ・協働力」を涵養するために

医療・研究チームで協同して活動し，医療の質の向上と安全管理を確保するためのチームリーダーとしての役割を果たすことができる資質と能力を育てる。

CP8：「省察力」を涵養するために

未解決の医学的問題を認識し，医療ニーズに常に対応できるように自己を管理し，生涯学習により常に自己の向上を図る必要性と方法を理解して医療チームの一員として協働的な業務を行う機会を与え，医療の質の向上と患者の安全管理に務めるための自律的学習能力・医療の質と安全管理・生涯にわたって共に学ぶ姿勢を育てる。